

2020年度 全日空商事グループ^o連結業績ハイライト

→ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)	科 目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流動資産	44,960	39,947	流動負債	24,379	22,246
現金及び預金	1,902	2,244	支払手形及び買掛金	10,204	6,799
受取手形及び売掛金	10,530	6,983	短期借入金	359	-
未収金	3,135	2,646	1年内返済予定の長期借入金	272	260
リース投資資産	8,476	6,897	リース債務	2,251	1,077
商品及び製品	11,244	9,054	未払金	7,688	10,743
原材料及び貯蔵品	143	179	未払法人税等	406	302
短期貸付金	6,748	5,725	賞与引当金	759	289
立替金	457	3,686	その他	2,438	2,773
その他	2,455	2,604			
貸倒引当金	△ 134	△ 77	固定負債	9,317	8,538
			長期借入金	847	520
固定資産	19,799	20,709	リース債務	4,241	3,993
有形固定資産	6,748	6,148	役員退職慰労引当金	224	213
建物及び構築物	2,827	2,497	退職給付に係る負債	3,219	2,584
機械装置及び運搬具	412	459	その他	784	1,227
工具、器具及び備品	930	775			
土地	2,151	2,154	負債合計	33,696	30,785
建設仮勘定	352	17			
その他	72	243	純資産の部		
無形固定資産	2,260	1,641	株主資本	29,999	26,767
のれん	591	456	資本金	1,000	1,000
ソフトウェア	1,549	1,086	資本剰余金	26	26
ソフトウェア仮勘定	83	64	利益剰余金	28,972	25,740
その他	35	34	その他の包括利益累計額	936	2,843
投資その他の資産	10,791	12,919	その他有価証券評価差額金	1,887	3,027
投資有価証券	6,736	8,235	繰延ヘッジ損益	77	166
長期貸付金	363	341	為替換算調整勘定	△ 252	△ 176
繰延税金資産	1,374	2,016	退職給付に係る調整累計額	△ 775	△ 174
退職給付に係る資産	69	270	非支配株主持分	127	261
その他	2,612	2,429			
貸倒引当金	△ 365	△ 374	純資産合計	31,063	29,871
資産合計	64,759	60,656	負債・純資産合計	64,759	60,656

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

→ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日)
売上高	147,291	82,487
売上原価	113,262	65,112
売上総利益	34,028	17,374
販売費及び一般管理費	30,954	21,675
営業利益又は損失(△)	3,074	△ 4,301
営業外収益		
受取利息	15	4
受取配当金	156	152
持分法による投資利益	355	19
為替差益	217	67
匿名組合投資利益	-	1,221
その他の	96	361
営業外収益合計	841	1,826
営業外費用		
支払利息	32	17
固定資産除却損	19	94
その他の	209	93
営業外費用合計	262	204
経常利益	3,654	△ 2,678
特別利益		
子会社精算益	-	86
投資有価証券売却益	-	10
特別利益合計	-	97
特別損失		
固定資産売却損	-	-
投資有価証券評価損	222	9
減損損失	364	661
災害による損失	-	-
その他の	99	341
特別損失合計	686	1,012
税金等調整前当期純利益又は損失(△)	2,967	△ 3,593
法人税、住民税及び事業税	1,197	276
法人税等調整額	△ 315	△ 865
法人税等合計	881	△ 588
当期純利益	2,085	△ 3,004
非支配株主に帰属する当期純利益又は損失(△)	△ 27	133
親会社株主に帰属する当期純利益又は損失(△)	2,112	△ 3,138

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- 当事業年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、戦後最悪の経済危機に直面しました。コロナショックは需給の両面の低迷が相互作用して経済悪化が深刻化するものとなり、主に供給面に影響した東日本大震災や主に需要面に影響した世界金融危機のような過去の経済危機とは異なる、全く新しい種類の経済ショックとなりました。
- このような状況下、全日空商事グループはANAグループの多角化事業を担う商社グループとして「専門分野を磨き上げ、顧客満足を追求し、確固たるマーケットプレゼンスを発揮する」という基本方針のもと、自社の強みを最大限に活用した事業拡大や新規事業領域への挑戦等グループ外からの収入拡大に努めてまいりました。
- しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大に伴う航空需要の激減により、空港免税・空港売店事業及び機内サービス・販売事業を中心に大幅な減収減益となりました。（空港免税・空港売店事業営業利益実績計：▲4,899百万円/対前年：▲5,718百万円）また、観光需要激減や五輪延期の影響をうけた藤二誠も大幅な減収減益となりました。（営業利益実績：▲558百万円/対前年：▲737百万円）尚、空港売店事業においては、不採算店舗を計9店舗（福岡、那覇3店舗、関西、佐賀、小松2店舗、富山）閉店いたしました。
- 一方、生鮮バナナ等の販売を中心に高収益を確保した食品事業や、半導体・電子機器需要の伸長を取り込み過去最高益となった電子事業、巣ごもり需要を取り込んだEC事業を中心とした事業では収益を確保いたしました。（食品・電子・EC事業営業利益実績計：2,076百万円/対前年：+1,175百万円）また、上期においてはエーツーケア商材においても新型コロナウイルス感染対策の旺盛な需要が追い風となり好調に推移しましたが、グループ全体としては航空需要激減に伴う減収減益の影響が非常に大きく、連結売上高は前期比56%の82,487百万円、営業利益は▲4,301百万円となりました。
- その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は▲3,138百万円となりました。

→ 連結経営成績

単位：百万円

	2019年度	2020年度	増減
売上高	147,291	82,487	▲64,804
営業利益	3,074	▲4,301	▲7,375
経常利益	3,654	▲2,678	▲6,332
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,112	▲3,138	▲5,250
EBITDA※1	4,543	▲2,859	▲7,402

※1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

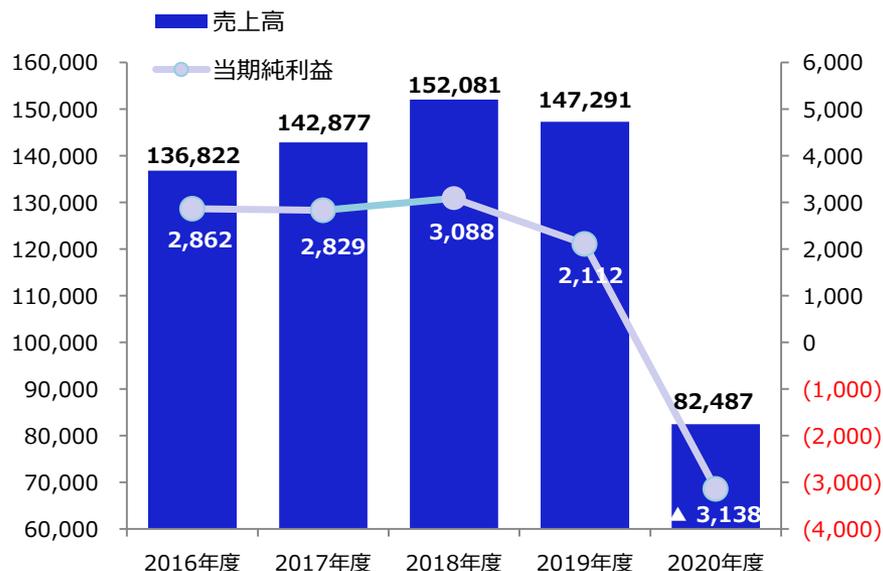
→ 主要財務数値

単位：百万円

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	136,822	142,877	152,081	147,291	82,487
営業利益	4,591	4,250	3,804	3,074	▲4,301
経常利益	4,755	4,404	4,927	3,654	▲2,678
親会社株主に帰属する当期純利益	2,862	2,829	3,088	2,112	▲3,138
総資産	61,744	65,771	68,935	64,759	60,656
純資産	26,009	28,411	31,185	31,063	29,871
自己資本比率(%)	41.9	43.0	45.0	47.8	49.2

→ 売上高・当期純利益推移

単位：百万円



→ 総資産・純資産推移

単位：百万円

